

中部中学校だより

きずな

令和6年12月13日発行
第21号
亀山市立中部中学校
亀山市田村町75番地
☎：82-2101
文責：平野



12月に入り、寒さも一段と厳しくなって、本格的な冬の季節へと移り変わってきました。ぜひとも、2学期の学校生活を悔いなく終われるよう、また、令和6年を充実した1年だったと締めくくることができるよう、残り少ない12月も一日一日を大切にして、有意義にすごしてほしいと思います。

川崎ふれあいフェスタに 本校の生徒が参加しました！

11月23日（土）、川崎小学校で「川崎ふれあいフェスタ」が開催されました。この行事は、川崎地区の住民と川崎小学校が一体となって運営されています。優良農作物生産者の表彰や飲食ブースの運営、芸術作品の展示や発表、小学生の学習発表など、盛りだくさんの内容でたくさんの方が来場しました。本校からは有志の参加生徒が、運営スタッフとしてボランティア参加しました。受付係やポップコーンやジュース、みそ焼きうどんや焼きそばなどの屋台の手伝い、自衛隊や消防団の防災展示補助等、様々な役割を担ってくれました。今年はミサガづくり教室を自主展開するブースを出すグループもありました。また、吹奏楽部が体育館で演奏したり、美術部が小学生のリクエストに応じてイラストを描いてくれたり、家庭部の展示もありました。川崎小学校や地域の方々からは、「中学生が毎年参加してくれてうれしい」、「仕事をしっかりしてくれてたのしい」とお声をいただきました。地域の一員としてしっかりがんばっている生徒の姿がありました。



青少年のための科学の祭典2024 第19回亀山大会に情報科学部が出展しました！

11月23日（土）、「青少年のための科学の祭典」が市青少年研修センターで開催されました。今回で19回目を迎えるこのイベントは、科学を通じて、子どもたちが自然科学に触れ面白さが体験できることを目的に開かれており、今年も大盛況でした。市内各中学校が担当する体験コーナーがあり、本校からは、情報科学部の部員が「楽しいスライムづくり」「色があらわれる不思議なコマ」「うがい薬でビタミンCを調べよう！」を担当しました。訪れた方々に対して、顧問の堀江先生や本校の理科担



当の先生とともに実験の説明をしました。小さな子どもたちにもわかりやすくていねいに説明していました。

中部中人権フォーラムが行われました！

12月10日（火）中部中学校人権フォーラムを行いました。今年の人権フォーラムは、テーマを「誰もが暮らしやすくするために、自分にできることを考える～外国人の人権課題を中心に～」として、外国人の人権課題を中心に、誰もが暮らしやすくするために、自分にできることを考えました。フォーラムのもちかたも、昨年までと違い、今年は校区人権フォーラムでの講演を、参加するスマクロメンバーだけでなく、全校でオンラインで聴く形態をとりました。そして、3学年の縦割り班で学級に集まり、意見を交流したのち体育館に集まって交流しました。5限目に行われた各縦割り班での話し合いでは、疑問に思ったことや、自分たちに何ができるのかを交流しました。各班からは、次のような疑問点や自分たちにできることが出されました。

疑問：日本の生活で他に困っていることは？日本は他の国に比べて過ごしやすいのか？
私たちにできること：これから私たちは、「偏見や差別をやめ、相手のことを理解したり、相手のことを考えたりすること」に取り組みます。

疑問：国や文化が違うだけで差別が起こるのはどうしてだろう
私たちにできること：相手の立場に立つ お互いの文化を知り合う ジェスチャーを用いて話す 笑顔で接する など
これから私たちは、「相手の立場に立つ」に取り組みます。

疑問：日本と海外の違いにどのように対応していったか
私たちにできること：相手の文化を知り、自分の文化を伝えること。
これから私たちは、「外国の人にはゆっくりわかりやすいように話したり、文化を伝えること」に取り組みます。

全校人権集会では、「どの班からも、今後私たちに何ができるかをいろいろと考えた様子が伝わってくる内容が発表されました。今回の全校人権集会では、外国籍の人たちについて考えましたが、このような思いは、どのような立場の人に対しても、同じです。これからも、一人ひとりができることを考え、できることから行動にしていきましょう。」というスマイルクローバーのメンバーの言葉で集会がしめくくられました。

